

リソナグループ B.LEAGUE 2024-25 SEASON REPORT

2024.10.03 thu -2025.05.27 tue

JAPAN PROFESSIONAL BASKETBALL LEAGUE



ココロ、
たぎる。

2050年のB.LEAGUE VISION「感動立国」と共に、
立ち止まることなく進化を続けていくという強い意志を込め、
シーズンテーマ「WE ARE UNSTOPPABLE!」を掲げ、
りそなグループ B.LEAGUE 2024-25シーズンは開幕しました。
そして、この言葉通り、B.LEAGUEは前シーズンをさらに超える飛躍を遂げました。

--

今シーズンの総入場者数は4,845,109名（ポストシーズン含む）となり、
B.LEAGUE開幕以降過去最高となる入場者数を突破しました。
1月に開催された「りそなグループB.LEAGUE ALL-STAR GAME WEEKEND 2025 IN FUNABASHI」は、
2024年に開業したLaLa arena TOKYO-BAYを舞台に2日間にわたって開催されました。
今回のオールスターでは、過去最多となる19,054人の入場者数を達成。
さらに、場外イベントにも約40,000人が来場するなど、過去最大規模の開催となり、
多くのファンの皆さまにお楽しみ頂いたイベントとなりました。

--

また夢のアリーナも続々と誕生しました。
長崎の「ハビネスアリーナ」、神戸の「GLION ARENA KOBE」が誕生し、
最新鋭の設備でファンを迎え入れました。

これらのアリーナは、2026年秋から始まる「B.革新」における
B.LEAGUE PREMIERを目指す上で不可欠な、世界基準の観戦体験を提供します。

--

りそなグループ B.LEAGUE 2024-25シーズンは、B.LEAGUEが「WE ARE UNSTOPPABLE!」という
テーマをまさに体现し、会場を沸かす大興奮の試合・プレーの数々、また入場者数、
そして新アリーナ誕生と歴史的な記録を打ち立てた9シーズン目となりました。



リソナグループ B.LEAGUE 2024-25 SEASON REPORT

INDEX

- P03 MESSAGE
- P04 リソナグループ B.LEAGUE 2024-25 SEASON CALENDAR
- P05 THE NUMBER OF ATTENDANCE
- P06 ATTRIBUTED OF ATTENDANCE
- P07 B.LEAGUE SNS
- P08 B.LEAGUE CLUB SNS
- P09 B1 RESULT
- P10 B2 RESULT
- P11 リソナグループ B.LEAGUE 2024-25 SEASON CLUB AWARD
- P12 リソナグループ B.LEAGUE CHAMPIONSHIP 2024-25
- P13 リソナグループ B2 PLAYOFFS 2024-25
- P14 B1 LEADERS
- P15 B2 LEADERS
- P16 B.LEAGUE 2024-25 SEASON BEST FIVE / SECOND TEAM
- P17 B.LEAGUE 2024-25 SEASON MVP
- P18 REGULAR SEASON AWARDS
- P19 リソナグループ B.LEAGUE ALL-STAR GAME WEEKEND 2025 IN FUNABASHI
- P20 B.LEAGUE HOPE
- P21 インフロンティア B.LEAGUE U15 / U18
- P22 B.LEAGUE INTERNATIONAL TRACK RECORD
- P23 B.LEAGUE BUSINESS SCALE
- P24 DREAM ARENA
- P25 B.LEAGUE NEXT SEASON



B.LEAGUE CHAIRMAN

MESSAGE

島田慎二チェアマンより皆様へ

この度は多くのファン、パートナー、全てのステークホルダーの皆さまのご支援、ご協力のもと「りそなグループ B.LEAGUE FINALS 2024-25」「B.LEAGUE AWARD SHOW 2024-25」を経て、B.LEAGUE 9シーズン目を無事終えることが出来たこと、心より感謝申し上げます。

りそなグループ B.LEAGUE 2024-25シーズンは、まさに「過去最高」のシーズンとなりました。総入場者数は4,845,109人と、多くのお客様にご来場いただきました。特に、史上初の野球場「エスコンフィールドHOKKAIDO」での開催では、B.LEAGUE史上最多となる19,462人の観客を迎え、大きな話題となりました。2025年4月に開業した「GLION ARENA KOBE」では、B2最多となる入場者数10,062人を記録するなど、B1、B2問わず、各地域でかつてない盛り上がりを見せております。

また、国際親善試合「B.LEAGUE GLOBAL INVITATIONAL 2025 B.LEAGUE UNITED vs NBL SELECT」の開催やNBAとの戦略的提携の基本合意を締結によって、選手に国際的な競技環境を経験する場を提供し、リーグ全体の競技力底上げを力強く目指してきました。

そして、いよいよ来シーズンは、B.LEAGUE開幕10年目の節目の年を迎えます。2026年からのB.革新に向けて、10年目のシーズンは、この勢いをさらに加速させ、より多くの皆さまにバスケットボールを通して、「ココロ、たぎる。」瞬間をご提供し、社会全体に貢献できるよう、果敢に挑戦し続けてまいります。

今後ともご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

B.LEAGUE CHAIRMAN
島田 慎二



りそなグループ B.LEAGUE 2024-25 SEASON

CALENDAR

2024年

6月1日-8月17日	B.LEAGUE U18 REGIONAL LEAGUE 2024 開催
8月6日-11日	2024 Shanghai Future Star Basketball Championship 出場
7月24日-31日	2024年 B.LEAGUE選手研修
9月24日	りそなグループ B.LEAGUE 2024-25 SEASON TIPOFF CONFERENCE 開催
10月2日	東アジアスーパーリーグ「EASL」2024-25シーズン開催～2025年3月9日 優勝 広島ドラゴンフライズ
10月3日	りそなグループ B.LEAGUE 2024-25 SEASON 開幕
10月6日-1月25日	インフロニア B.LEAGUE U18 ELITE LEAGUE 2024開催
11月29日-12月2日	インフロニア B.LEAGUE U18 CHAMPIONSHIP 2024 開催

2025年

1月18日	NBAとの戦略的提携の基本合意を締結
1月18日-19日	りそなグループ B.LEAGUE ALL-STAR GAME WEEKEND 2025 IN FUNABASHI 開催 インフロニア B.LEAGUE U18 ALL-STAR GAME 2025 B.LEAGUE ALL-STAR B.Hope ACTION 2025 IN FUNABASHI リモートコーチング チア supported by SoftBank／ B.Hope フードドライブ／On the Court！（オンライン→リアル）／B.STAFF体験 MEET UP！選手訪問
2月1日-2日	インフロニア B.LEAGUE U16 CHALLENGE CUP 2025 開催
2月22日-24日	インフロニア B.LEAGUE U18 INTERNATIONAL CUP 2025 開催
3月6日-7日	Bユース指導者研修（コンプライアンス）実施
3月26日-30日	インフロニア B.LEAGUE U15 CHAMPIONSHIP 2025 開催
4月26日-27日	B.LEAGUE U18 Development Camp 2025 開催
5月13日-18日	B.LEAGUE U18 International Training Camp 2025 in Australia 開催
5月22日-25日	フィリピン・マニラにて「B.LEAGUE FINAL WEEK in MANILA 2025」 「B.LEAGUE VIEWING PARTY in MANILA 2025」開催「B.Hope ASIA Jr. CLINIC」開催
5月24日-27日	りそなグループ B.LEAGUE FINALS 2024-25 年間優勝 宇都宮ブレックス- UNIFIED SPORTS® BASKETBALL GAME supported by ANYTIME FITNESS
5月30日	B.LEAGUE AWARD SHOW 2024-25 開催
6月7日	B.Hope ACTION 「With能登」被災地復興イベント開催
6月7-13日	「バスケットボール チャンピオンズリーグ アジア（BCL Asia）2025」開催 優勝 宇都宮ブレックス
6月28日-29日	B.LEAGUE GLOBAL INVITATIONAL 2025 開催



りそなグループ B.LEAGUE 2024-25 SEASON

A NUMBER OF ATTENDANCE

シーズン入場者数に関する記録

※2025年6月時点

		2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22	2022-23	2023-24	2024-25
B1	シーズン入場者数	1,500,767	1,564,298	1,662,119	1,144,415	882,440	1,193,713	2,488,846	3,324,301	3,486,763
	年間最多入場者試合	10,144 5/27 B.LEAGUE FINAL 川崎 vs 栃木 (代々木第一)	12,005 5/26 B.LEAGUE FINAL A東京 vs 千葉 (横浜アリーナ)	12,972 5/11 B.LEAGUE FINAL 千葉 vs A東京 (横浜アリーナ)	9,514 10/3 開幕戦 川崎 vs 宇都宮 (横浜アリーナ)	4,785 6/1 B.LEAGUE FINALS 宇都宮 vs 千葉 (横浜アリーナ)	8,309 5/22 SEMI FINALS 琉球 vs 島根 (沖縄アリーナ)	13,657 5/28 B.LEAGUE FINALS 千葉 vs 琉球 (横浜アリーナ)	13,203 5/26 B.LEAGUE FINALS 琉球 vs 広島 (横浜アリーナ)	19,462 12/28 北海道 vs 三河 (エスコンフィールドHOKKAIDO)
	シーズン平均入場者数	2,779	2,897	3,078	3,260 ※23節終了時点	1,554	1,983	3,466	4,617	4,849
	シーズン最多平均入場者数	4,501 千葉ジェッツ	5,196 千葉ジェッツ	5,204 千葉ジェッツ	5,116 千葉ジェッツ	2,353 川崎ブレイドサンダース	4,763 琉球ゴールデンキングス	6,823 琉球ゴールデンキングス	7,746 琉球ゴールデンキングス	9,847 千葉ジェッツ
	シーズン最多入場者試合	7,327 5/3 千葉 vs 秋田 (千葉ポートアリーナ)	6,299 5/6 北海道 vs 新潟 (北海きたえーる)	6,760 4/21 大阪 vs 京都 (おおきにアリーナ舞洲)	6,472 12/5 大阪 vs 千葉 (おおきにアリーナ舞洲)	3,901 5/5 琉球 vs 千葉 (沖縄アリーナ)	8,263 5/4 琉球 vs 千葉 (沖縄アリーナ)	9,555 1/8 A東京 vs 川崎 (代々木第一)	10,513 4/28 A東京 vs 群馬 (代々木第一)	19,462 12/28 北海道 vs 三河 (エスコンフィールドHOKKAIDO)
B2	シーズン入場者数	646,545	836,802	821,993	569,703	340,582	279,306	560,569	967,515	1,139,340
	年間最多入場者試合	4,899 4/30 熊本 vs 広島 (熊本県立総合体育館)	4,909 5/13 秋田 vs 熊本 (CNAアリーナ★あきた)	5,041 4/6 茨城 vs 群馬 (アダストリアみとアリーナ)	4,007 9/29 広島 vs 熊本 (広島サンブラザホール)	2,178 5/16 茨城 vs 仙台 (アダストリアみとアリーナ)	3,329 4/17 仙台 vs 福島 (ゼビオアリーナ)	7,523 5/21 佐賀 vs 長崎 (SAGAアリーナ)	6,454 4/21 神戸 vs 熊本 (ワールド記念ホール)	10,062 4/20 神戸 vs 鹿児島 (GLION ARENA KOBE)
	シーズン平均入場者数	1,197	1,550	1,522	1,407 ※24節終了時点	747	778	1,335	2,304	2,713
	シーズン最多平均入場者数	2,105 熊本ヴォルターズ	2,897 秋田ノーザンハビネッツ	2,567 仙台89ERS	2,448 仙台89ERS	1,134 仙台89ERS	1,538 仙台89ERS	1,958 長崎ヴェルカ	5,005 アルティエリ千葉	5,296 アルティエリ千葉
	シーズン最多入場者試合	4,899 4/30 熊本 vs 広島 (熊本県立総合体育館)	4,721 3/17 秋田 vs FE名古屋 (CNAアリーナ★あきた)	5,041 4/6 茨城 vs 群馬 (アダストリアみとアリーナ)	4,007 9/29 広島 vs 熊本 (広島サンブラザホール)	2,056 11/22 仙台 vs FE名古屋 (ゼビオアリーナ仙台)	3,329 4/17 仙台 vs 福島 (ゼビオアリーナ)	5,443 4/9 西宮 vs A千葉 (グリーンアリーナ神戸)	6,454 4/21 神戸 vs 熊本 (ワールド記念ホール)	10,062 4/20 神戸 vs 鹿児島 (GLION ARENA KOBE)
B1/B2 OVER-ALL		2,238,043	2,503,106	2,592,944	1,719,191	1,293,393	1,575,908	3,227,531	4,515,851	4,845,109

※2019-20 シーズンについては、B1・B2レギュラーシーズン中止開始節（B1 23節、B2 24節）までの入場者数

※2020-21シーズン開幕にあたって原則政府が示す目安である「入場制限付き開催（50%）」にて開催

※2020-21シーズンはB1 20クラブ/B2 16クラブでの開催

※2021-22シーズン途中より、順次「条件付き100%開催」へ移行したクラブあり

※2021-22シーズンはB1 22クラブ/B2 14クラブでの開催

※2021-22シーズンについては、リーグ戦終了時点の入場者数（チャンピオンシップ、B2プレーオフを含まず）

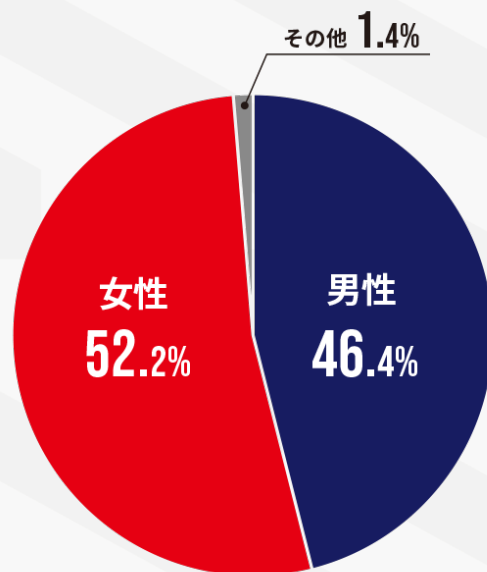
※2022-23シーズン 2023-24シーズン 2024-25シーズンはB1 24クラブ/B2 14クラブでの開催

ATTRIBUTED OF ATTENDANCE

シーズン入場者の属性 ※2025年6月時点

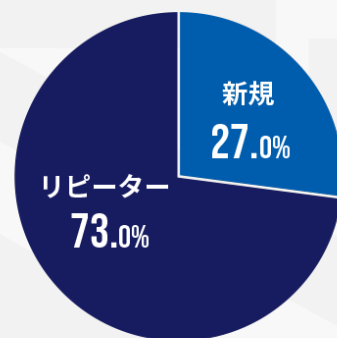
男女比 MALE / FEMALE RATIO

男性	46.4%
女性	52.2%
その他	1.4%



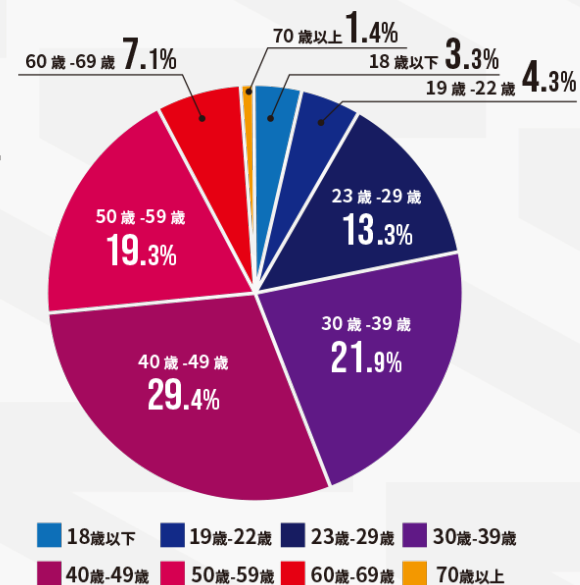
新規・リピーター比率 NEW/REPEAT CUSTOMER RATIO

新規	27.0%
リピーター	73.0%



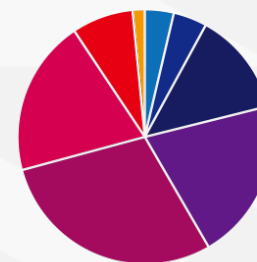
年齢層 WIDE RANGE OF AGE GROUPS

18歳以下	3.3%
19歳-22歳	4.3%
23歳-29歳	13.3%
30歳-39歳	21.9%
40歳-49歳	29.4%
50歳-59歳	19.3%
60歳-69歳	7.1%
70歳以上	1.4%



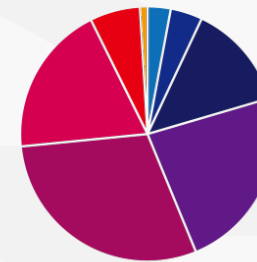
男性 MALE RATIO

18歳以下	1.7%
19歳-22歳	2.0%
23歳-29歳	6.1%
30歳-39歳	9.6%
40歳-49歳	13.5%
50歳-59歳	9.1%
60歳-69歳	3.7%
70歳以上	0.7%



女性 FEMALE RATIO

18歳以下	1.5%
19歳-22歳	2.2%
23歳-29歳	7.1%
30歳-39歳	12.0%
40歳-49歳	15.5%
50歳-59歳	9.9%
60歳-69歳	3.3%
70歳以上	0.6%

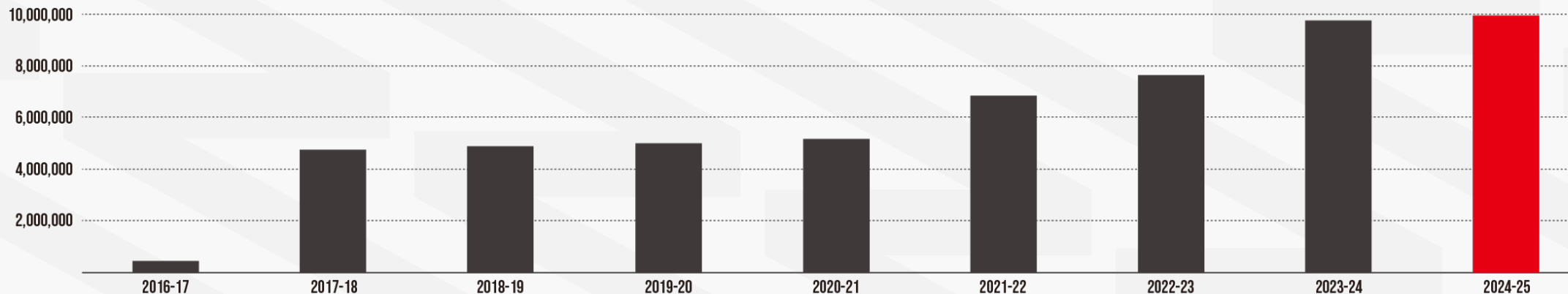


B.LEAGUE SNS

リーグSNSフォロワー数

※対象SNS：X, Instagram, YOUTUBE, TikTok, Facebook, LINE ※2025年6月時点

総フォロワー数 **990万人**へ



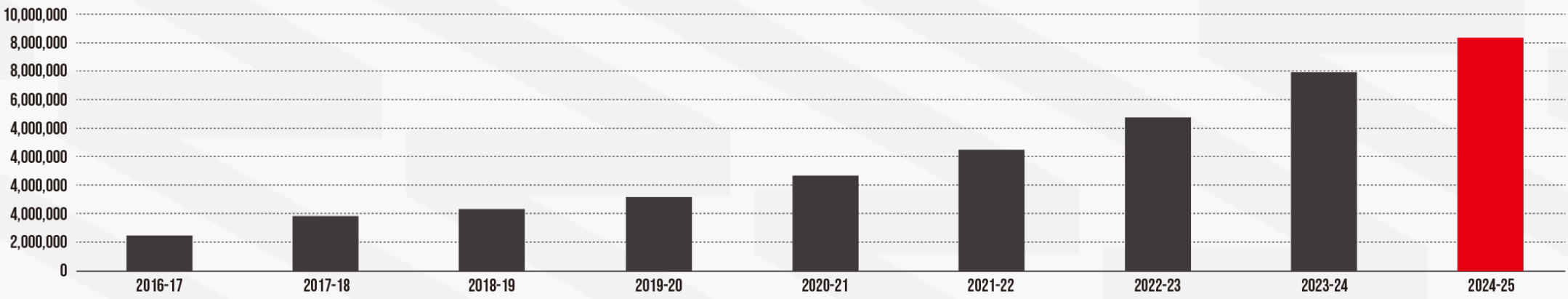
SNS	2016-17 SEASON	2017-18 SEASON	2018-19 SEASON	2019-20 SEASON	2020-21 SEASON	2021-22 SEASON	2022-23 SEASON	2023-24 SEASON	2024-25 SEASON
X	155,990	213,438	240,897	258,485	282,334	308,750	336,539	384,548	416,756
Instagram	50,948	73,547	111,203	149,842	195,510	227,775	279,575	427,555	487,164
YouTube	22,458	41,223	61,532	84,900	156,000	191,000	227,000	290,000	335,000
TikTok	-	-	24,123	44,100	51,125	75,350	105,800	148,100	170,937
Facebook	131,051	135,138	136,860	137,914	155,530	156,388	158,636	167,697	170,737
LINE	77,972	4,271,218	4,291,907	4,309,598	4,321,893	5,884,979	6,547,256	8,327,165	8,373,161
計	438,419	4,734,564	4,866,522	4,984,839	5,162,392	6,844,242	7,654,806	9,745,065	9,953,755

B.LEAGUE CLUB SNS

クラブSNSフォロワー数

※対象SNS：X, Instagram, YOUTUBE, TikTok, Facebook, LINE ※2025年6月時点

総フォロワー数 **810万人**へ



SNS	2016-17 SEASON	2017-18 SEASON	2018-19 SEASON	2019-20 SEASON	2020-21 SEASON	2021-22 SEASON	2022-23 SEASON	2023-24 SEASON	2024-25 SEASON
X	717,361	1,204,494	1,303,298	1,455,787	1,697,568	2,036,711	2,366,592	2,687,323	2,885,225
Instagram	81,093	185,622	300,324	419,057	542,182	684,154	887,250	1,309,085	1,552,707
YouTube	-	-	3,911	111,368	235,075	339,187	488,453	657,080	767,310
TikTok	-	-	45	24,122	167,215	414,992	572,760	763,960	859,064
Facebook	419,426	449,619	464,932	470,849	492,836	508,511	519,341	525,331	530,791
LINE	-	54,029	77,932	94,188	176,329	267,505	545,224	1,029,576	1,562,628
計	1,217,880	1,893,764	2,150,442	2,575,371	3,311,205	4,251,060	5,379,620	6,972,355	8,157,725

※シーズンによってクラブ数が異なります。

B1 RESULT

リーグ戦最終順位表 B1

EASTERN CONFERENCE-東地区-

順位	チーム	勝	負
1	 宇都宮ブレックス	48	12
2	 千葉ジェッツ	42	18
3	 群馬クレインサンダーズ	39	21
4	 秋田ノーザンハピネッツ	28	32
5	 レバンガ北海道	21	39
6	 越谷アルファーズ	19	41
7	 茨城ロボッツ	15	45
8	 仙台89ERS	11	49

CENTRAL CONFERENCE-中地区-

順位	チーム	勝	負
1	 三遠ネオフェニックス	47	12
2	 アルバルク東京	44	16
3	 シーホース三河	39	21
4	 名古屋ダイヤモンドドルフィンズ	35	25
5	 ファイティングイーグルス名古屋	30	30
6	 サンロッカーズ渋谷	30	30
7	 横浜ビー・コルセアーズ	24	36
8	 川崎ブレイブサンダース	18	42

WESTERN CONFERENCE-西地区-

順位	チーム	勝	負
1	 琉球ゴールデンキングス	46	14
2	 島根スサノオマジック	37	23
3	 京都ハンナリーズ	33	27
4	 大阪エヴェッサ	29	31
5	 広島ドラゴンフライズ	28	32
6	 長崎ヴェルカ	26	34
7	 佐賀バルナーズ	22	38
8	 滋賀レイクス	8	51



B2 RESULT

リーグ戦最終順位表 B2

EASTERN CONFERENCE- 東地区 -

順位	チーム	勝	負
1	 アルティーリ千葉	57	3
2	 富山グラウジーズ	38	22
3	 信州ブレイブウォリアーズ	37	23
4	 福井ブローウィングス	32	28
5	 山形ワイヴァンズ	24	36
6	 青森ワッツ	21	39
7	 福島ファイヤーボンズ	15	45

WESTERN CONFERENCE- 西地区 -

順位	チーム	勝	負
1	 ライジングゼファー福岡	42	18
2	 鹿児島レブナイズ	37	23
3	 ベルテックス静岡	34	26
4	 熊本ヴォルターズ	27	33
5	 バンビシャス奈良	26	34
6	 神戸ストークス	25	35
7	 愛媛オレンジバイキングス	5	55



リソナグループ B.LEAGUE 2024-25 SEASON

CLUB AWARD クラブ表彰

リソナグループ B.LEAGUE 2024-25 SEASON
CHAMPIONS
- B.LEAGUE 年間優勝 -



宇都宮ブレックス (東地区1位)

- B.LEAGUE年間準優勝 -



琉球ゴールデンキングス
(西地区1位)

- B1地区優勝 -



- 東地区 -
宇都宮
ブレックス



- 中地区 -
三遠
ネオフェニックス



- 西地区 -
琉球
ゴールデンキングス



アルティ―リ千葉 (東地区1位)



富山グラウジーズ
(東地区2位)

- B2年間3位 -



信州ブレブウォリアーズ
(東地区3位)

- B2地区優勝 -



- 東地区 -
アルティ―リ千葉

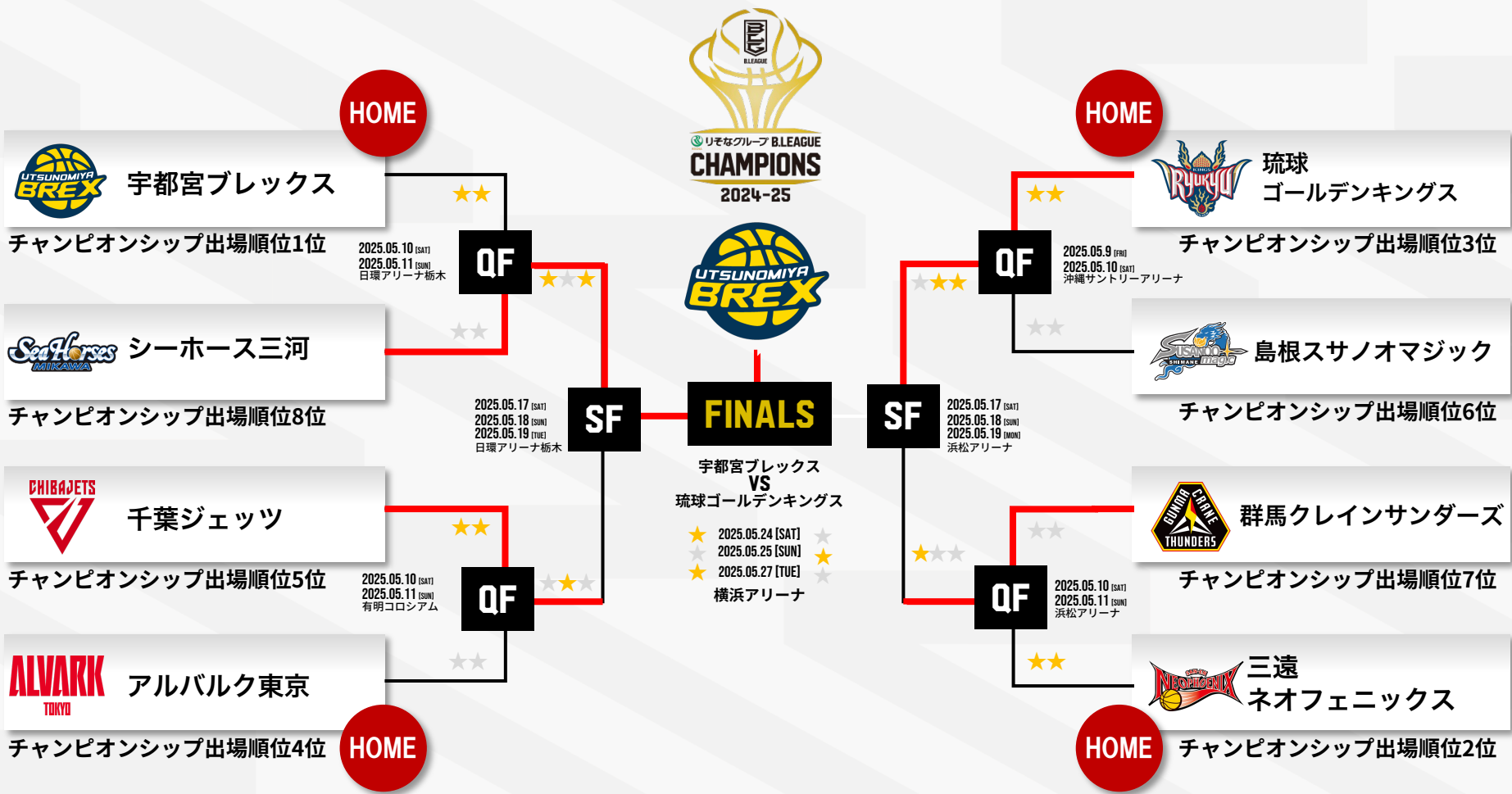


- 西地区 -
ライジングゼファー
福岡

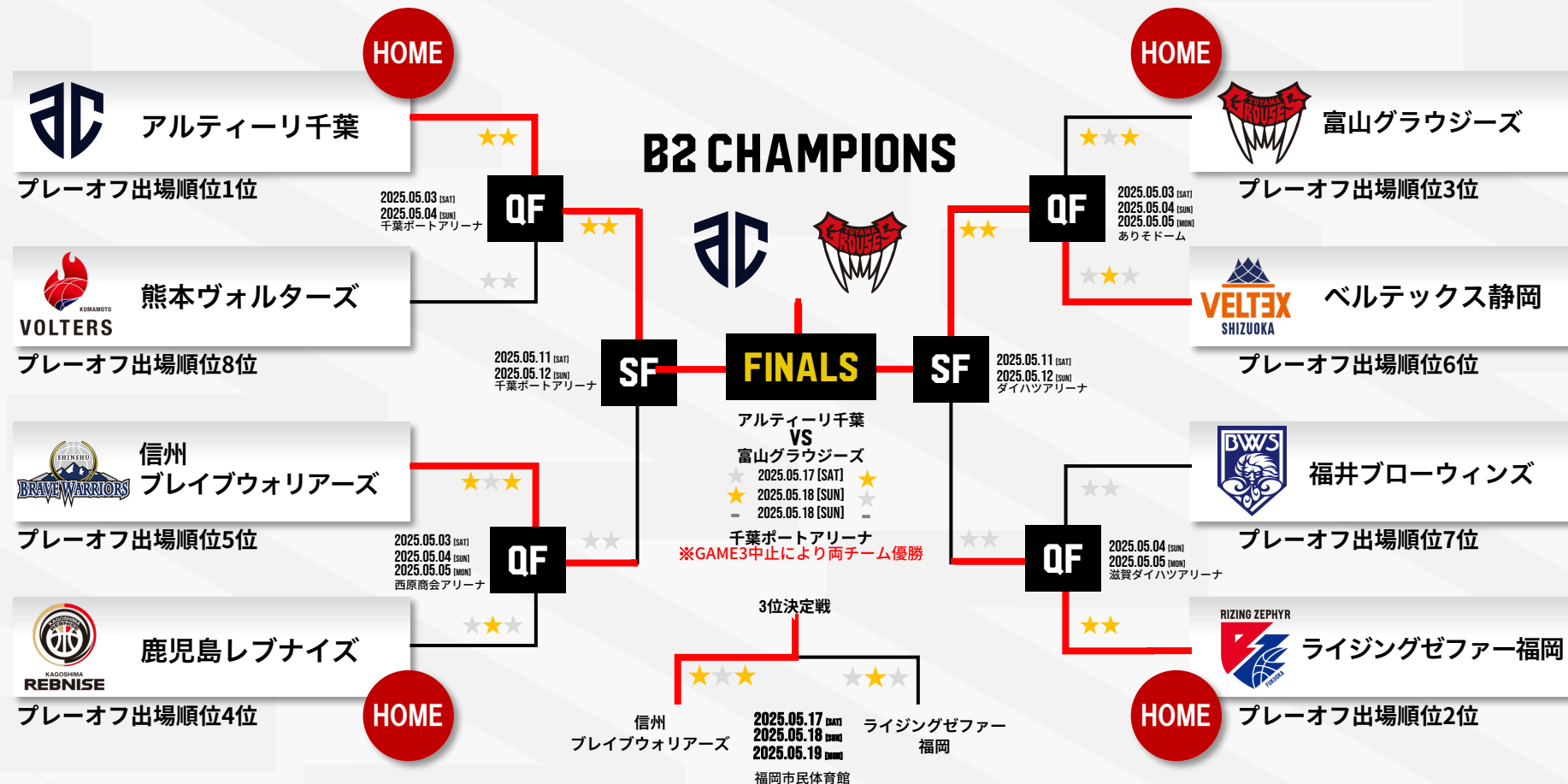
- B2年間優勝 -



リソナグループ B.LEAGUE CHAMPIONSHIP 2024-25
 リソナグループ B.LEAGUE FINALS 2024-25



リソナグループ B2 PLAYOFFS 2024-25



B1 LEADERS

B1リーダーズ表彰

得点王



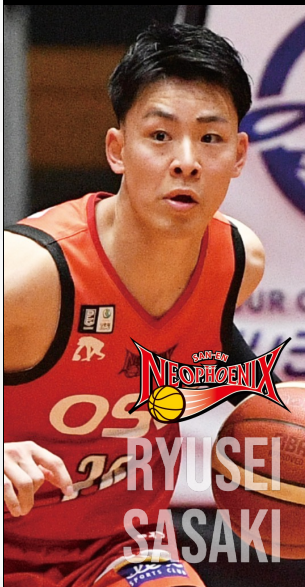
滋賀レイクス

#12 ブロック・モータム

BROCK MOTUM

21.4

アシスト王



三遠
ネオフェニックス

#24 佐々木 隆成

RYUSEI SASAKI

6.5

リバウンド王



レバンガ北海道

#40 トーマス・ウェルシュ

THOMAS WELSH

13.6

スティール王



ファイティングイーグルス
名古屋

#11 アーロン・ヘンリー

AARON HENRY

2.4

ブロック王



川崎
ブレイブサンダース

#8 サッシャ・キリヤ・ジョーンズ

SACHA KILLEYA JONES

2.0

ベスト
3P成功率賞



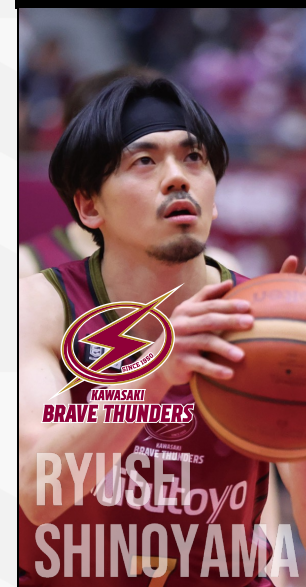
宇都宮ブレックス

#6 比江島 慎

MAKOTO HIEJIMA

44.3%

ベスト
FT成功率賞



川崎
ブレイブサンダース

#7 篠山 竜青

RYUSEI SHINOYAMA

91.7%

B2 LEADERS

B2リーダーズ表彰

得点王



CHAUNDEE
BROWN JR.

神戸ストークス

#16 チョンディー・ブラウン・ジュニア

CHAUNDEE BROWN JR

19.1

アシスト王



YUICHI
IKEDA

青森ワッツ

#12 池田 祐一

YUICHI IKEDA

8.7

リバウンド王



NIGEL
SPIKES

愛媛

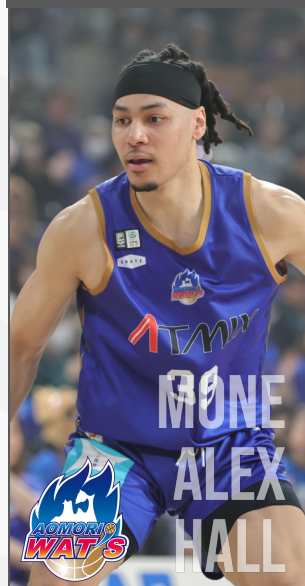
オレンジバイキングス

#11 ナイジェル・スパイクス

NIGEL SPIKES

12.0

スティール王



MONE
ALEX
HALL

青森ワッツ

#39 ホール百音アレックス

MONE ALEX HALL

1.7

ブロック王



MATT
HARMS

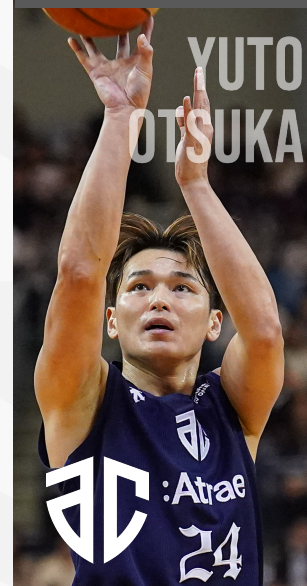
鹿児島レブナイズ

#3 マット・ハームス

MATT HARMS

2.2

ベスト 3P成功率賞



YUTO
OTSUKA

アルティーリ千葉

#24 大塚 裕土

YUTO OTSUKA

39.6%

ベスト FT成功率賞



THOMAS
KENNEDY

富山グラウジーズ

#1 トーマス・ケネディ

THOMAS KENNEDY

88.6%

REGULAR SEASON BEST 5/SECOND TEAM

REGULAR SEASON BEST 5



**MAKOTO
HIEJIMA**

宇都宮ブレックス

#6 比江島 慎

MAKOTO HIEJIMA



D.J. NEWBILL

宇都宮ブレックス

#25 D.J. ニュービル

D.J. NEWBILL



**DAVID
NWABA**

三遠
ネオフェニックス
#2 デイビッド・ヌワバ

DAVID NWABA



**RYUSEI
SASAKI**

三遠
ネオフェニックス
#24 佐々木 隆成

RYUSEI SASAKI



**VIC
LAW**

琉球
ゴールデンキングス
#4 ヴィック・ロー

VIC LAW

REGULAR SEASON SECOND TEAM



千葉ジェッツ

#2 富樫 勇樹

YUKI TOGASHI



アルバルク東京

#22 ライアン・ロシター

RYAN ROSSITER



三遠
ネオフェニックス
#1 ヤンテ・メイテン

YANTE MATEN



滋賀レイクス

#12 ブロック・モータム

BROCK MOTUM



島根
スサノオマジック
#3 安藤 誓哉

SEIYA ANDO

りそなグループ B.LEAGUE 2024-25 SEASON

REGULAR SEASON MVP



宇都宮ブレックス
#25 D.J・ニュービル



リソナグループ B.LEAGUE 2024-25 SEASON

REGULAR SEASON AWARDS

B1 B2 個人表彰/特別表彰

<投票いただいたメディア>

NHK、日本テレビ、テレビ朝日、TBSテレビ、NHK BS1、BS10、共同通信、時事通信、朝日新聞、日本経済新聞、読売新聞、月刊バスケットボール、バスケットボールキング、Number、バスケットボールスピリッツ、バスケットLIVE、札幌テレビ放送株式会社、東日本放送、茨城新聞、下野新聞、上毛新聞、地域情報サイトまい36、JCOM株式会社、シブヤ経済新聞、神奈川新聞、テレビ神奈川、名古屋テレビ、東海テレビ、テレビ愛知、中日スポーツ、びわ湖大津経済新聞、NHK京都放送局、読売テレビ、山陰中央新報社、中国新聞、長崎真珠、青木崇、青木美帆、大塚社平、小永吉陽子、小沼克幸、永塚和志、鈴木健一郎、松原真実、ミムラユウスケ、吉川哲彦、佐々木クリス (B.LEAGUEアナリスト)





THEME FANDER WORLD

CONTENTS

B.LEAGUE ASIA RISING STAR GAME

G-SHOCK SKILLS CHALLENGE

DRY ZERO 3POINT CONTEST

『CAPTAIN AMERICA : BRAVE NEW WORLD』

DUNK CONTEST

インフロニア B.LEAGUE U18 ALL★ STAR GAME

りそなグループ B.LEAGUE ALL★ STAR GAME

B.HOPE ACTION

INBOUND

PARTNER ACTIVATION

ARTISTS LIVE ・ ・ ・ ETC

りそなグループ B.LEAGUE ALL★STAR GAME WEEKEND 2025 IN FUNABASHI

船橋を舞台に行われた B.LEAGUE ALL-STAR GAME WEEKEND 2025 IN FUNABASHIでは、2024年に開業したLaLa arena TOKYO-BAYを舞台に2日間開催された。

「B.STYLE」をコンセプトに「地域創生」「革新性」という2つのコンセプトで地域からバスケットで日本を元気に、笑顔にしていこうことを目標にしている。

テーマには昨年同様にファンと共に作りあげる新しい世界「FANDER WORLD（造語）」を掲げ、アリーナを中心としてファンに笑顔を届けた。

2025年のオールスターゲームでは、アジアライジングスターゲーム、コンテスト、U18オールスターゲーム、そしてBリーグオールスターゲームを実施。

バスケットボール以外にもアーティストLIVEやB1全マスコットの出演によるイベントなどで会場を盛り上げた。

今回のオールスターでは、過去最多の入場者数である19,054人を達成し、場外のイベントでも約40,000人が来場するなど過去最大規模の開催となった。





B.LEAGUE HOPE

スポーツリーグとして日本初の社会的責任活動プロジェクト。
ステークホルダーとともにさまざまな社会的責任活動を
「B.LEAGUE Hope (B.Hope)」と称し、推進。



テクノロジーを活用し遠隔で
チアダンスの指導を実施。
さらに選手と子どもたちが
リアルイベントで披露



知的障がいのある人となし、
B.LEAGUEゲストとともに
ユニファイドスポーツ®
バスケットボールゲームを開催



会場に出るごみの正しい分別を通して
環境にやさしいアクションを
ファンとともに実施



ファンや選手から家で余っている
食品の回収を実施し、
地域のフードバンクへ寄付。
支援を必要としている方へ届け



子どもたちの興味関心や意欲を引き出す
ことを目指し、選手やチアと
オンラインで定期交流会を実施。
さらにリアルでのスポーツ交流を実施



日本バスケットボール選手会と
輪島市民まつりへ参加し、
子どもたち・市民の皆さんと
バスケットで交流



選手が船橋市内の施設訪問。
一緒に身体を動かしたり、
一生の思い出となるような
交流を実施



未就学児を対象に、
バスケットやチアダンスで身体を動かす
楽しさを伝える取り組みを、
全国のBクラブと実施



子どもたちの体験や経験の機会創出を
目指し、全国のBクラブとともに、第3の
居場所などにミニゴールとボールを寄贈



進路や将来について考え始める中学生が、
オールスターゲームで
チームマネージャーの体験を実施



ファンが防災・避難視点で街を歩き
気づきをシェア！
クラブ・ファンとともに
地域の防災力向上を目指す！



誰もが分け隔てなく集い、バスケットを楽しみ、
笑顔になれる場所を目指し、
全国のBクラブとともに街中や公園に
バスケットゴールを設置





B.LEAGUE U15 / U18

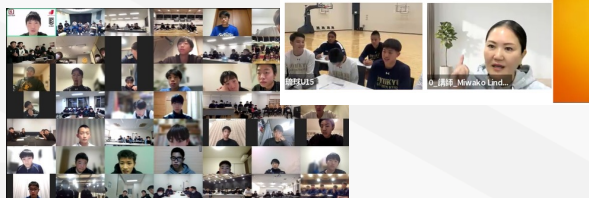
B.LEAGUEのミッションである「世界に通用する選手の輩出」に向けて、2024-25シーズンはU15では51クラブ、U18では38クラブのユースチームが活動。シーズンを通して多くの試合が開催されたことに加え、オフコートの学びの場として「Athlete mind」「Global mind」「Business mind」の3つの力を醸成するための選手研修を実施。またB.LEAGUE U18として初の海外遠征を含む4度の海外チームとの対戦機会があるなど「世界に通用する選手の輩出」に向けて更に大きく動き出したシーズンとなった。

[2024-25 シーズンの取り組み]

2024年	6月1日-8月17日	B.LEAGUE U18 REGIONAL LEAGUE 2024 開催
	8月6日-8月11日	2024 Shanghai Future Star Basketball Championship 出場
	8月23日-24日	B.LEAGUE U18 ELITE LEAGUE 2024出場決定戦 開催
	9月21日-22日	B.LEAGUE U18 TRYOUT CAMP 2024 開催
	10月6日-1月25日	インフロニア B.LEAGUE U18 ELITE LEAGUE 2024 開催
	11月7日	B.LEAGUE U15/U18 選手研修（アンチ・ドーピング）実施
	11月29日-12月2日	インフロニア B.LEAGUE U18 CHAMPIONSHIP 2024 開催
	12月19日	B.LEAGUE U15/U18 選手研修（SNS）実施
	12月24日-26日	B.LEAGUE U18 / U16 ELITE CAMP 2024 開催
2025年	1月19日	インフロニア B.LEAGUE U18 ALL-STAR GAME 開催
	1月28日	B.LEAGUE U15/U18 選手研修（グローバルマインド）実施
	2月2日-3日	インフロニア B.LEAGUE U16 CHALLENGE CUP 2025 開催
	2月22日-24日	インフロニア B.LEAGUE U18 INTERNATIONAL CUP 2025 開催
		同大会にB.LEAGUE U18選抜チーム出場
	3月6日-7日	Bユース指導者研修（コンプライアンス）実施
	3月26日-30日	インフロニア B.LEAGUE U15 CHAMPIONSHIP 2025 開催
	4月17日	B.LEAGUE U15/U18 選手研修（バスケット男子日本代表を目指す姿）実施
	4月26日-27日	B.LEAGUE U18 Development Camp 2025 開催
	5月13日-18日	B.LEAGUE U18 International Training Camp 2025 in Australia 開催
	6月17日-24日	B.LEAGUE U15/U18 選手研修（栄養）実施
	6月27日	B.LEAGUE U15/U18 保護者研修（栄養）実施

B.LEAGUE U15 / U18 選手研修

今後のB.LEAGUEひいては日本の未来を担う人材を育成することを目的に、オフコートの学びの場として「Athlete mind」「Global mind」「Business mind」の3つの力を醸成すべく、2024-25シーズンにおいては、「グローバルマインド」他5つの研修を実施した。



Workshop

面接で自己アピール できれば英語で！

インフロニア B.LEAGUE U18 ALL-STAR GAME

U18選手が2024年9月の「B.LEAGUE U18 TRYOUT CAMP 2024」、2024年12月の「B.LEAGUE U18 / U16 ELITE CAMP 2024」を経て、最終的に選出された22名の選手が2025年1月に「りそなグループ B.LEAGUE ALL-STAR GAME WEEKEND 2025 IN FUNABASHI」の舞台に立ち、U18 JADEとU18 HELIOSの2チームに分かれて激突。U18選手にとっても大きな目標となっているU18 ALL-STAR GAMEは今回で3度目の開催となり、選手達はLaLa arena TOKYO-BAYで躍動した。



海外経験

2024-25シーズンはB.LEAGUE U15/U18選手が世界基準のバスケットを経験する機会の多いシーズンとなった。2024年8月には中国の上海で開催された「2024 Shanghai Future Star Basketball Championship」にB.LEAGUE U18として初の海外遠征を実施し、中国U18代表と互角に渡り合うなどB.LEAGUE U18の現在地を図るうえでも意義深い大会となった。続いて2025年2月には「インフロニア B.LEAGUE U16 CHALLENGE CUP 2025」と「インフロニア B.LEAGUE U18 INTERNATIONAL CUP 2025」の2大会を開催。それぞれフィリピンと韓国、オーストラリアとドイツから海外チームを招聘し、両大会とも海外チームが優勝という形で終了はしたものの、サイズで上回る海外チームに対して果敢に挑んだ。さらには2025年5月に「B.LEAGUE U18 International Training Camp 2025 in Australia」としてリーグから選出されたB.LEAGUE U18の選手10名がオーストラリアに渡り、現地で世界基準の練習やスクリメージを実施。参加した選手は世界で戦うための課題を持ち帰り、更なる成長の機会となった。



出発 Departures

B.LEAGUE INTERNATIONAL TRACK RECORD

2024-25シーズンは、アジア戦略5年目に突入して、事業規模をさらに拡大。
アジア枠を5→14ヶ国に拡張。インバウンドや現地イベントを数多く実施し、ファンのエンゲージメントを高めた1年となった。

Final Week in Manila



B.LEAGUEファイナル時に、マニラにてFINAL WEEK in MANILA 2025を開催。それぞれのコンテンツをSDGsと絡め、バスケットボールクリニック（質の高い教育）や、3x3トーナメント（ジェンダー平等）、パブリックビューイング、ミートアンドグリート（貧困）などの社会問題にB.Hope ASIAのプロジェクトの一環として取り組む。各日フィリピン人選手がゲストで来場し、イベントを盛り上げた。



インバウンド施策の実施

船橋でのりそなグループB.LEAGUE ALL-STAR GAME WEEKEND 2025 IN FUNABASHIでは、ゲーム観戦と選手とのミートアンドグリートなどのアクティベーションを含めたホスピタリティパッケージの販売を実施。その他大阪、秋田、仙台にてインバウンドモニターツアーを実施し、メディアやインフルエンサーを招待。レギュラーシーズンの試合観戦だけでなく、試合後選手と交流出来る付加価値をつけたツアー企画を実施・検証。



オールスター国際VIP招待



各国のVIPを船橋ののりそなグループB.LEAGUE ALL-STAR GAME WEEKEND 2025 IN FUNABASHIに招待。BLGが誇るライブスポーツエンタメを体感。各国リーグのトップ（NBA Asia Pacific、PBA、SBP、P+、IBL、Bundesliga）が集結。VIPルームでは積極的に様々なリーグのトップが商談。海外ネットワークの構築・深化を促進。

NBAとパートナーシップ締結

NBAと新たにMOUを締結し、エリート選手の育成、共同プロモーションの実施、物販&ライセンス事業の拡大を模索を戦略的提携の基本合意を締結。今後さらにNBAとの連携を図る。



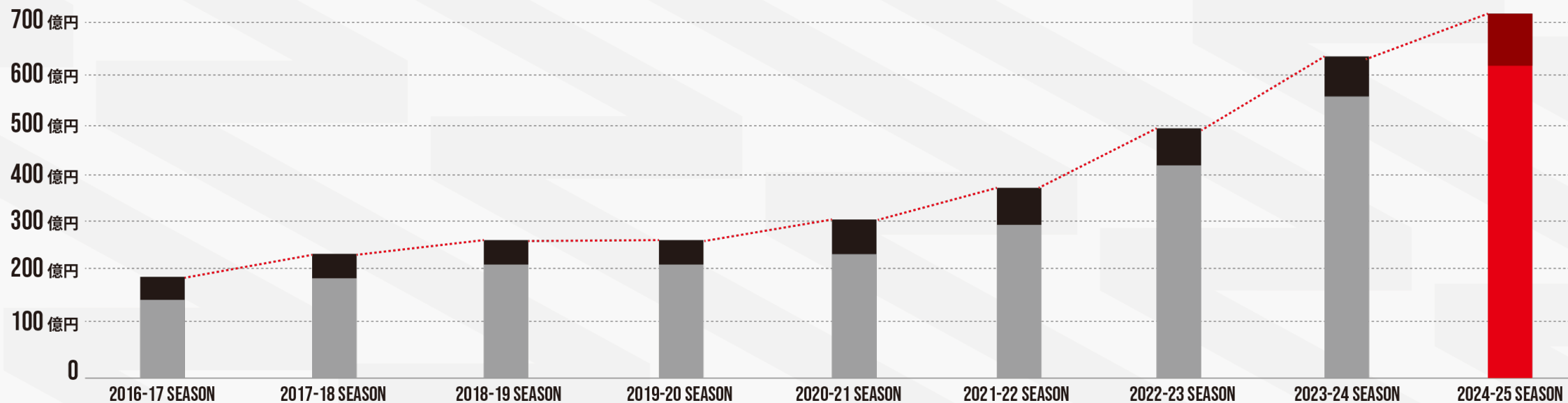
B.LEAGUE GLOBAL INVITATIONAL 2025

B.LEAGUEの中期経営計画の「2030年までにNBA選手5人輩出」を実現するべく、将来の海外挑戦も視野に入れた若手選手を中心に選抜チーム「B.LEAGUE UNITED」を結成。オーストラリアNBLの選抜チームを群馬に迎え入れて、試合を実施。



B.LEAGUE BUSINESS SCALE

開幕当初の2016-17 SEASONは196億円であったリーグ・クラブの事業規模は、2024-25 SEASONを終えて、700億円の規模まで拡大、



事業規模	2016-17 SEASON	2017-18 SEASON	2018-19 SEASON	2019-20 SEASON	2020-21 SEASON	2021-22 SEASON	2022-23 SEASON	2023-24 SEASON	2024-25 SEASON
クラブ	150 億円	195 億円	221 億円	224 億円	242 億円	300 億円	415 億円	552 億円	613 億円
リーグ	46 億円	48 億円	49 億円	46 億円	67 億円	72 億円	75 億円	80 億円	93 億円
計	196 億円	243 億円	270 億円	270 億円	309 億円	372 億円	490 億円	632 億円	706 億円

※2025 年 2 月時点

B.LEAGUE DREAM ARENA

開幕当初、「夢のアリーナ」というミッションを掲げていたB.LEAGUE。
現在は全国各地に26の夢のアリーナのプロジェクトが進行する中、
今シーズンは神戸のGLION ARENA KOBE、宝来屋ボンズアリーナが新たに会場するに至った。



B.LEAGUE NEXT SEASON

B1にはアルティリーリ千葉が初めて参入、富山グラウジーズが1シーズンで復帰を果たした。また、B2には岩手ビッグブルズが復帰、横浜エクセレンスはフランチャイズを移してから初めてのB2参戦となる。

りそなグループ B.LEAGUE 2025-26 SEASON

● B1
● B2

B1

26クラブ				
東 地区	北海道	仙台	秋田	茨城
	宇都宮	群馬	越谷	A千葉
	千葉J	A東京	SR渋谷	川崎
横浜BC				

西 地区

富山	三遠	三河	FE名古屋
名古屋D	滋賀	京都	大阪
島根	広島	佐賀	長崎
琉球			

B2

14クラブ			
東 地区	青森	岩手	山形
	福島	横浜EX	福井
西 地区	静岡	神戸	奈良
	愛媛	福岡	熊本
鹿児島			



THANK YOU FOR ALL